

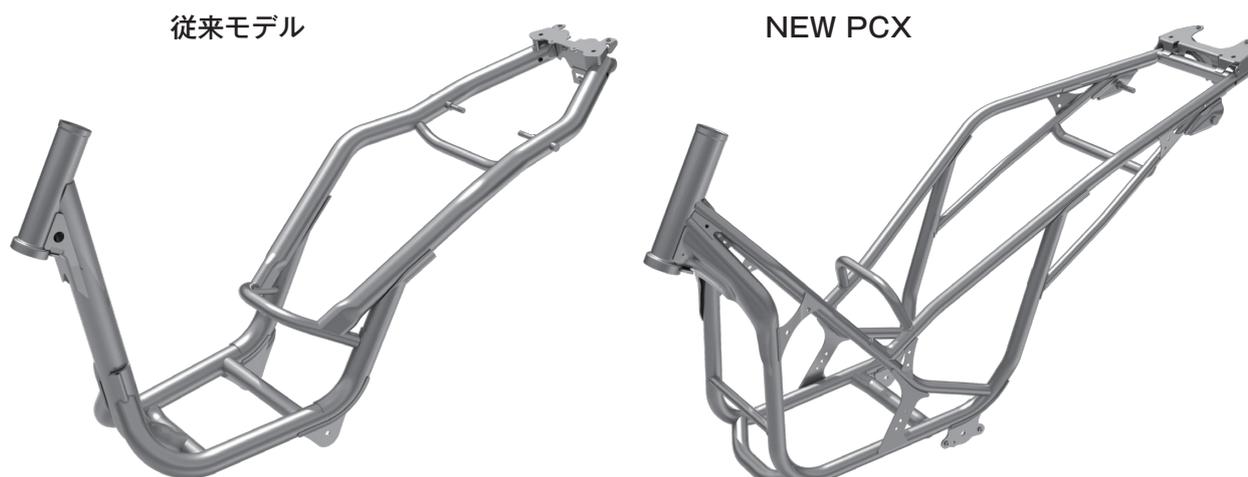
従来のPCXシリーズの魅力である、125/150ccスクーターとしての使いやすさ/取り回しのしやすさと、ゆったりとしたライディングポジションという相反する要素を両立したパッケージを保ちつつ、街中はもちろんのこと、郊外のツーリングでのよりよい乗り味を目指しました。

●フレーム、フロントカバーステー

よりよい乗り味を目指し、フレームを新設計しました。フレーム構造を従来モデルのアンダーボーン構造から、ダブルクレードル構造へ変更することで、フレームの剛性を高め、向上させた動力性能を余すことなく引き出せる操縦性を実現しました。かつシート前のまたぎやすさは従来モデルと同レベルを保っています。

また、フロントカバーステーは従来モデルの鉄製から、Hondaスクーターとして初の樹脂製を採用しています。このフロントカバーステーの樹脂化とフレームの構造変更で、両部品合わせて2.4kgの軽量化を実現しました。これらの軽量化は、軽快感ある、よりニュートラルなハンドリング特性に寄与しています。

■新・旧フレーム形状比較イメージ図



■新・旧フロントカバーステー比較イメージ図

